

平成 24 年度 第 2 回 環境水理部会 議事録

時間：平成 25 年 3 月 7 日（木） 12:20～13:25

場所：名城大学 天白キャンパス 共通講義棟南 209 号室

出席者（敬称略）：二瓶泰雄，角哲也，赤松良久，竹林洋史，井伊博行，井芹寧，井上徹教，今村正裕，
（出席者 []） 大石哲也，工藤健太郎，齋田倫範，櫻井寿之，重枝未玲，新谷哲也，田代喬，
土屋十圓，都築隆禎，中山恵介，中山忠暢，長尾正之，藤野毅，堀田哲夫，
前田修一，宮本仁志，武藤裕則，矢島啓，安田浩保，矢野真一郎，湯浅岳史，
横山勝英
（オブザーバー）田井明，鶴田舞，大槻順朗（順不同）

・オブザーバーからの自己紹介

部会に先立ち、本部会において新たにオブザーバーになった鶴田舞氏（国土交通省 国土技術政策総合研究所）から自己紹介がなされた。

【審議事項】

1. 次期副部会長・幹事について（角副部会長）

角副部会長（次期部会長）より、次期副部会長として宮本委員（神戸大学）が提示され、承認された。合わせて、次期幹事として、赤松幹事（山口大学）および大石委員（土木研究所）が提示され、承認された。

2. 平成 25 年度研究集会について（横山委員）

横山委員（首都大学東京）より平成 25 年度研究集会の実施案について配布資料を元に説明がなされ、以下の要領で実施することで承認を得た。

1) 日程

平成 25 年 5 月 31 日 研究集会（集合 10:00 於：JR 一ノ関駅）

平成 25 年 6 月 1 日 現地見学会（解散 16:30 ごろ 於：JR 仙台駅もしくは仙台空港）

2) 研究集会について

- ・研究集会では、開催地周辺の一般市民向けとして、震災関連のセッションを設ける。また、研究集会のみの参加費は無料とする。
- ・特別講演については、平山大輔様（岩手県一関市副市長）に中山恵介委員（北見工業大学）を通じて依頼を行う
- ・一般市民向けの研究集会の告知のために、市広報紙に掲載を依頼する。
- ・研究集会の会場を夜まで確保できていない。そのため、昨年度実施したナイトセッションは行わない。

3) 現地見学会について

- ・気仙沼市、南三陸町を中心に震災被災地域とする。
- ・南三陸町の見学については長尾委員（産総研）が説明・コーディネートする。

3. 「樹林化現象の類型化」に関する新規ワーキンググループの設立（宮本委員）

宮本委員（神戸大学）より、配布資料をもとに、「樹林化現象の類型化」に関する新規ワーキンググループ（WG）の設立について提案され、了承された。本 WG は、昨年 11 月に行われた河川部会とのジョイントワークショップ（JWS）を契機とし、樹林化現象の体系化や河川部会との連携のための受け皿となることを設立趣旨とする。WG リーダーは宮本委員がなることで了承された。また、WG メンバーに、JWS に深く関わった赤松幹事、大石委員、重枝委員（九工大）が入ることが確認され、その他の部会員も WG に入ることを希望する場合には宮本委員に随時連絡することとなった。

【報告事項】

1. 教科書作成 WG 報告（二瓶部会長・兼 WG リーダー）

二瓶部会長より、教科書原稿提出に当たり、各章担当者とまとめ、それを 4/30 までに二瓶 WG リーダーと竹林幹事に送付することが説明された。

2. 流域圏 WG 報告

(1) 環境水理部会・河川部会共催ジョイント WS の実施報告 (宮本委員)

宮本委員より、配布資料をもとに、樹林化をテーマとした環境水理部会・河川部会共催ジョイントワークショップ (2012 年 11 月 22 日開催、於：神戸大学瀧川記念学術交流会館) について実施報告がなされた。参加者数は 110 名であり、コンサルタンの参加者が多く、実務と密接したテーマであったことが報告された。

(2) 流域圏シンポの報告 (横山委員)

横山委員より、配布資料をもとに、流域圏シンポジウム (2012 年 12 月 14 日開催、於：ラゾーナ川崎プラザソル) の実施報告がなされた。

3. 震災対応 WG 報告 (横山委員)

(1) 活動報告書作成について

横山委員より、本 WG に対する活動報告書の作成目次案が示され、承認を得た。本報告書の締切日は 4/30 となっているが、再度確認することとなった。

(2) 土木学会全国大会におけるオーガナイズドセッションの開催について

横山委員より、土木学会全国大会でのオーガナイズドセッションの開催の依頼があり、重点課題と同じテーマを提案したことが報告された。

4. 水工学委員会報告 (二瓶部会長)

平成 25 年 3 月 5 日開催の水工学委員会における内容として、下記の報告がなされた。

- ・ 水理公式集改訂検討小委員会において、水理公式集の利用や改定要望に関するアンケートが実施され、その内容について報告された。

【その他】

1. WG 活動の継続意思について (二瓶部会長)

二瓶部会長より、WG 活動の継続意思に関して確認がなされ、下記の通りとすることで承認を得た。なお、WG 活動については、2 年単位で実施され、都度活動継続の意思確認を行うことになっていることが確認された。

- ・ 教科書 WG 活動を継続する (二瓶 WG リーダー)
- ・ 流域圏 WG 活動を継続する (赤松 WG リーダー)
- ・ 震災対応 WG 活動を継続しない (横山 WG リーダー)

以上